

「令和6年度LED防犯灯設置維持管理事業手法等検討支援業務委託」 業務説明資料

本説明資料に記載した内容には、現在検討中のものも含まれるため、本プロポーザルのみの設定条件とし、将来の業務実施の条件とするものではありません。

1 目的

地域の安全安心を図るため、市所有のLED防犯灯の灯具の更新、不点灯等不具合への対応、経年劣化した鋼管ポール防犯灯の建替え等の維持管理について、現在は、ESCO事業者を含む複数の事業者と契約し実施している。一方で、経年劣化した鋼管ポールの建替え、光源寿命を経過した灯具の更新、財政負担の平準化等の課題も山積している。

そこでESCO事業終了後を見据え、横浜市LED防犯灯維持管理設置事業を持続的に実施していくにはどのような事業手法で実施していくことが効率的かつ効果的なのか、PPP手法の導入も含めて調査・検討支援を委託するものである。

2 再編整備対象施設等

(1) 所在地

横浜市域一円

(2) 規模

ア 電柱共架型 約16万灯

※東電柱又はNTT柱につけた灯具のみを管理するタイプ

イ 独立柱（鋼管ポール）型 約2万灯

※鋼管ポールを市で建て、灯具をつける（ポール及び灯具ともに管理）タイプ

3 履行期間

令和6年4月1日から12月28日まで。

なお、本事業の実施は、令和6年度の本市予算が横浜市議会で議決された後に確定するため、現時点において、本事業の実施を確約するものではありません。

4 業務内容

次の業務を支援すること。

(1) 本事業の前提条件の整理【時期：令和6年9月まで】

令和5年度に行った「LED防犯灯事業における対話（サウンディング型市場調査）」の結果を踏まえ、本事業の前提条件の整理を行う。

(2) 事業内容の検討【時期：令和6年9月まで】

ア 事業内容の精査、各業務内容の検討

包括的維持管理（コールセンターによる通報受付、維持管理記録等の情報管理、器具更新、現場調査、不具合修理、新設・撤去、各種連絡調整等）を想定

イ 新たな付加価値の提案に対する分析

防犯灯事業に付随した新たなビジネス等の付加価値の提案に対する分析

ウ 事業費算出

各業務の費用の算出

市費負担を軽減するための収益事業、付帯事業による収益見込みの算出

(3) VFM の算定【時期：令和6年9月まで】

(4) 公募条件等の整理（事業スキーム、事業期間等）【時期：令和6年9月まで】

(5) サウンディング型市場調査の実施支援（公募条件の妥当性、参入可能性確認など2回程度）
【時期：1回目は令和6年9月まで】

(6) 事業手法の比較検討（定量/定性比較）と最適な手法の選択【時期：令和6年9月まで】

事業手法（従来方式、定借、PFI等）の定性的な比較を行うとともに、事業費シミュレーションを行い、市費負担の定量的比較を行う。以上の比較検討から、最適な事業手法を検討する。

(7) 想定事業スケジュール検討

(8) その他必要な業務

ア 関連資料の作成

- ・上記（1）から（7）に指示するもののほか、必要に応じ、関連資料・公表用資料等の案を作成する（本市内部会議等に必要となる資料作成含む）。
- ・上記（1）から（7）に指示するもののほか、必要に応じ、庁内関係者間のイメージ共有や、事業者公募など各場面で活用できるイメージ図を作成する。

イ 協議・検討

- ・隔週1回2時間程度、定例的に協議・検討（リモートも可）を行う。
- ・会議におけるアジェンダ及び会議資料を必要部数作成する。また、協議・検討の都度、議事概要を作成する。
- ・会議の曜日及び時間については、契約後の協議をもって決定する。本市で場所を確保できない場合は、受託事業者が確保する。

以上